

6月22日の尾張健友会定期社員総会、6月21日の尾張健友福祉会評議員会で承認された決算報告をお知らせします。

2024年度決算の概要について

1. 収益について

①今年度の事業収益総額は約49億5,958万円となりました。医業収益約39億9,899万円、介護収益約9億6,058万円、合わせて前年比103.1%で、前年度より約1億5,057万円の増でした。予算に対しては99.1%と達成することができませんでした。

②外来収益は前年比96.7%で約2,508万円の減、予算比88.5%、入院収益では前年比103.6%で約1億787万円の増収、予算比101.2%となりました。外来は患者数減が継続していますが、入院の稼働が高かったことと、11月より地域包括医療病棟の基準をとり増収となっています。保健活動収益は、前年比104.7%で約559万円の増収で、予算も280万円上回りました。

施設介護は、稼働目標未達で予算収益も未達ですが、前年度より稼働が上がりました。収益は前年比101.7%ですが予算比は98.4%と予算収益にはとどきませんでした。居宅介護は訪問看護等の利用者確保が厳しかったですが、デイケアや老健ショートステイでは利用者目標を上回り、収益は前年比110.6%で約3,461万円の増収、予算比102.2%となりました。介護収益合計では前年比105.9%で約5,377万円の増収、予算比は100.1%でした。今期は、施設入所の稼働減をショートステイでカバーし、居宅収益の増収をもたらしています。

2. 費用について

①今年度の事業費用総額は約49億1,955万円となり、前年比101.6%で約7,517万円の増、予算比97.6%でした。その内、人件費は前年比101.1%で約3,661万円の増、予算比96.6%、材料費は前年比104.9%予算比103.2%、委託費は前年比101.8%、予算比97.9%です。経費は前年比100.8%で約397万円の増、予算比99.1%となっています。減価償却費は前年比98.3%で約245万円の減でした。また、消費税負担額は前年比103.6%で約428万円の増となっています。

人件費では、処遇改善で固定手当を増額し、賃上げ促進税制も活用できています。しかし、職員の退職にともなう人員確保もきびしく人件費支出としては1.1%ほどの上昇となっています。材料費・委託費では、コロナ関連薬品はじめ薬剤費や診療材料費が前年も予算も上回っています。経費では、水光熱費や求人对策費が上昇していますが、他の経費が予算内でなんとか経費全体では予算内です。清掃委託費や給食委託費など、物価高騰の影響で大幅値上げとなっています。その他の経費も物価高騰の影響で上昇傾向であり、注視していかなばなりません。

②今年度の収益に対する構成比は、人件費は65.0%（前年66.2%）、材料費は11.5%（前年11.3%）、委託費は7.5%（前年7.7%）、経費は9.8%（前年10.0%）となりました。

3. 利益について

①今年度の経常利益は、約1億994万円となっています。前年は約4,101万円で、約6,893万円の増となりました。事業利益は4,003万円となり、補助金等の事業外収益と支払い利息などの事業外費用を含め上記経常利益額となっています。

事業収益は前年実績を上回りましたが、予算（予算比99.1%）にはとどきませんでした。一方、事業費用についても前年を上回りましたが、予算内での執行となり（予算比97.6%）、事業利益は前年及び予算を上回りました。物価高騰対策支援金と包括支援センター補助金等含めて9,813万円あり、結果経常利益予算を達成できました。

今期も、前年からの診療報酬改定経過措置の終了などの対策で、地域包括医療病棟基準の確保と病棟の高稼働運営で収益確保してきましたが、外来や居宅介護事業等、患者数や利用者数を確保し収益確保が必要です。

4. 財務状況について

①総資産額は約42億1,277万円となりました。前年比98.9%で約4,791万円の減となっています。資産では流動資産が約20億8,102万円となり前年比101.4%、約2,972万円の増。固定資産は約21億3,174万円で前年比96.5%、約7,764万円の減となりました。

負債では流動負債が約8億7,059万円となり、前年比101.0%約834万円の増となりました。固定負債は約18億3,488万円となり、前年比93.4%約1億3,020万円の減。資本合計は約15億729万円で前年比105.2%、約7,393万円の増となりました。

当期利益を確保し、剰余金を増やしています。

②総資産約42億1,277万円のうち建物等の有形固定資産は約14億7,595万円で総資産の35.0%を占めています。

③自己資本比率は35.8%（前年度33.6%）です。

2024年度事業活動のまとめ

事業活動の重点として「地域との繋がり」を掲げて取り組みました。

地域密着型介護事業所では、「利用者は地域の生活者」としての視点を大切にし、地域へ繰り出す介護活動を実践しました。近隣の高校生のインターンシップ、ボランティアを39名受け入れるなど若い世代との交流機会を広げました。

将来の介護職員の確保のため、介護系学生の奨学金制度を新設し、制度紹介も兼ねて養成校へ訪問・懇談を行いました。

2024年度介護報酬改定が実施され、介護職員処遇改善加算等の要件が見直されました。人件費や水光熱費など経費増加に対し、在宅系の介護保険事業収入が伸び悩みました。

年度末決算は、総資産16億3,156万円（前年比5,671万円減）、うち流動資産：現金預金は1億7,256万円（前年比1,405万円減）となりました。当期資金収支差額146万円（予算比1,403万円未達）、当期活動増減差額は149万円（前年比2,533万円増）でした。

1）ケアハウスちあき
居室50室の年間入居率99.5%。平均年齢86.2歳、要支援1以上の認定者は約6割でした。年間で4名の入退去がありました。新企画「ちょこっとマルシェ」（パン、ヤクルト、野菜の訪問販売）を月1回開催しました。

2）デイサービスセンター・ちあき
1日平均利用者数は目標40名以上に対し42.2名と達成しました。事業規模

が大規模デイとなった為当初予算より基本単価が下がり、収入予算には未達となりました。歩行トレーニングロボットを導入し、楽しみながら意欲的に歩行訓練を行っていただけました。

3）藤が丘事業所
デイサービスの1日平均利用者数は8.0名と目標達成しました。楽しい機能訓練「ショッピングデイ」を企画し、利用を広げました。

4）岩倉事業所
小規模多機能の月平均登録者数は、23.3名（登録定員25名）。デイサービスは1日平均9.5名と目標達成しました。友の会、尾張健友サービス、岩倉介護保険サービスセンターの皆さんの協力のもと開設15周年祭を盛大に開催しました。

5）特養・特養第二（各ショートステイ含む）
平均稼働率は特養98.1%、特養第二97.6%でした。ショートステイは昨年比104%の稼働となりました。大成高校学生32名の介護体験学習を受け入れ、その後も健康まつりなどイベントのボランティア活動につながりました。

6）萩原事業所
小規模多機能の月平均登録者数は、22.9名（登録定員29名）、グループホームの稼働率は96.5%でした。「萩原ホームちあき祭り」「防災・炊き出しイベント」を開催し、地域との交流が広がりました。

社会福祉法人 尾張健友福祉会 2024年度 決算報告

貸借対照表

2025年3月31日現在

(単位：円)

勘定科目		当年度末	前年度末	増減
流動資産	現金預金	172,558,062	186,612,817	△14,054,755
	事業未収金	140,431,564	141,590,136	△1,158,572
	その他流動資産	8,996,328	2,280,786	6,715,542
	合 計	321,985,954	330,806,326	△8,820,372
固定資産	基本財産	1,138,445,091	1,177,201,847	△38,756,756
	その他固定資産	171,129,377	180,266,892	△9,137,515
	合 計	1,309,574,468	1,357,468,739	△47,894,271
総 計		1,631,560,422	1,688,275,065	△56,714,643

勘定科目		当年度末	前年度末	増減
負債	流動負債	91,199,959	99,778,175	△8,578,216
	固定負債	436,220,471	466,835,046	△30,614,575
合 計		527,420,430	566,613,221	△39,192,791
純資産	基本金	138,391,100	138,391,100	0
	国庫補助金等特別積立金	424,945,029	443,959,510	△19,014,481
	その他の積立金	0	0	0
	次期繰越活動増減差額	540,803,863	539,311,234	1,492,629
	(うち当期活動増減差額)	1,492,629	△23,836,460	25,329,089
合 計		1,104,139,992	1,121,661,844	△17,521,852
総 計		1,631,560,422	1,688,275,065	△56,714,643

事業活動決算書

2024年4月1日～2025年3月31日現在

(単位：円)

勘定科目		当年度決算	前年度決算	増減
サービ ス活動増減の部	介護保険事業収益	808,460,438	794,341,763	14,118,675
	老人福祉事業収益	79,412,128	77,847,627	1,564,501
	経常経費寄附金収益	632,908	669,984	△37,076
	その他の収益	0	113,900	△113,900
	サービス活動収益計	888,505,474	872,973,274	15,532,200
サービ ス活動増減の部	人件費	577,090,782	543,215,042	33,875,740
	事業費	111,703,005	104,120,093	7,582,912
	事務費	154,149,845	204,237,447	△50,087,602
	利用者負担軽減額	283,718	70,253	213,465
	減価償却費	62,509,429	63,685,103	△1,175,674
サービ ス活動増減の部	国庫補助金等特別積立金取崩額	△19,014,481	△19,634,769	620,288
	サービス活動費用計	886,722,298	895,693,169	△8,970,871
	サービス活動増減差額	1,783,176	△22,719,895	24,503,071
サービ ス活動増減の部	サービス活動外収益計	4,394,072	2,689,336	1,704,736
	サービス活動外費用計	5,696,619	3,958,301	1,738,318
	サービス活動外増減差額	△1,302,547	△1,268,965	△33,582
	経常増減差額	480,629	△23,988,860	24,469,489
特別増減の部	特別収益計	1,418,470	1,216,969	201,501
	特別費用計	406,470	1,064,569	△658,099
	特別増減差額	1,012,000	152,400	859,600
繰越活動増減差額の部	当期活動増減差額	1,492,629	△23,836,460	25,329,089
	前期繰越活動増減差額	539,311,234	553,147,694	△13,836,460
	当期末繰越活動増減差額	540,803,863	529,311,234	11,492,629
次期繰越活動増減差額		540,803,863	539,311,234	1,492,629